

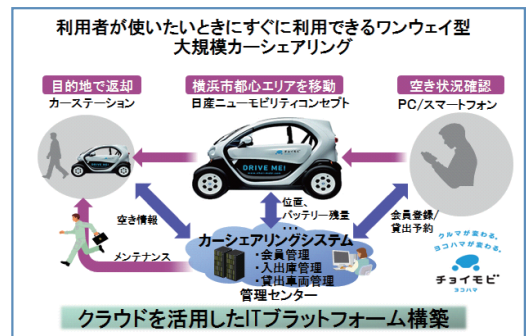
## ワンウェイ型カーシェアリングシステム「チョイモビ ヨコハマ」

横浜市と日産自動車(株)と共に「都市づくり」「クルマづくり」「情報通信インフラづくり」という3つの視点から、全く新しい交通サービス「チョイモビ ヨコハマ」を実現。

### 背景



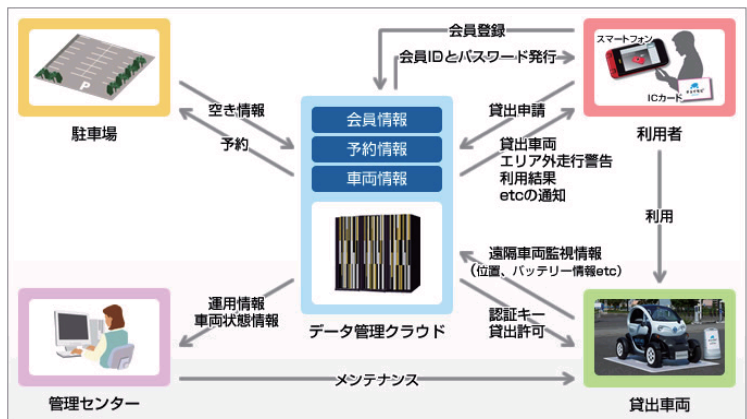
横浜市は、現在低炭素交通に関する市民意識の向上等を目的として、低炭素交通プロモーションを展開。その一環として2013年10月から日産自動車(株)と共同で、超小型電気自動車(EV)「日産ニューモビリティコンセプト」を活用したワンウェイ型大規模カーシェアリング「チョイモビ ヨコハマ」を開始。そのカーシェアシステムの核となるITプラットフォームを日立製作所が提供。当初は2013年より1年間の実証予定だったが、利用者が目標を上回る1万人を超え、期間を1年延長。この仕組みについて横浜市・日産自動車(株)共に2014年のグッドデザイン賞を受賞している。



### 概要

カーシェアリングシステムを展開するにあたり、電気自動車の貸出管理や会員登録・利用登録などを、クラウドによって一元管理する必要性があった。今回日立が手がけたITプラットフォームの実現によって、電気自動車と駐車場をリアルタイムで管理できるようになり、スマートフォンなどのモバイル端末で利用申請をすることも可能になった。さらに、電気自動車には遠隔監視システムを搭載し、バッテリー残量やブレーキ警告などの情報をもとに、適切なメンテナンスを行うことができるようになっている。

### IT 利活用の概要



出典：(株)日立製作所・横浜市での日立の取り組み  
<http://www.hitachi.co.jp/products/smartcity/case/yokohama/index.html>

### アピールポイント

#### スマートフォンを中心にした「日立システム」の特徴

- (1) 簡単操作で利用可能
  - 目的地のみ選択で利用可能(開始時間や終了予定時間は入力不要)
  - その場で利用開始
- (2) 制約を受けない利用
  - ラウンドトリップかワンウェイトリップを選択可能
  - Open END(終了時間指定なし) ○分単位課金が可能
- (3) 安心な管理
  - SOC25%以下は自動貸出し禁止 ○エリア外走行警告
  - リアルタイム監視(位置、バッテリー残量など)



### Key Person

(株)日立製作所情報・通信システムグループ高山光正チーフプロジェクトマネージャー、(株)日立製作所エネルギーソリューション事業統括本部市村賢一主任技師がこのプロジェクトに関わった。

